

松尾少年ゲートボールクラブ

南信大会に向けて

代表 大島 健司

四月十日の松尾少年スポーツクラブの結団式後、五月より六年生五人、五年生一人、四年生二人、二年生二人、一年生一人計十一人で第二、第四、土曜日二回で活動を開始しました。継続して加入している子供、新加入の子供も、ボールを打つ事から練習に入り、ゲートの通過ボールに当てる(タッチ)そのボールを味方の有利な場所、相手のボールは不利な場所へ移動する(スパーク打撃)等、ひと通りの事は出来るように、七月十日に県ゲートボール連盟飯田支部松尾会



クラブ・教室だより

の方々と練習試合を行いました。大人の皆様に手心しないで試合とはこういうものだと教えて下さいとお願ひして試合を始めました。なかなか思うようには進まなかった。試合は大敗ではなかったが負けは負け、どうして負けたか勉強になり次に生かせる事になった。ジュニアの部の南信大会が九月に伊那市で行われます。それに向けて暑さに負けずに頑張ると子供達は一回の試合で力強くなりました。



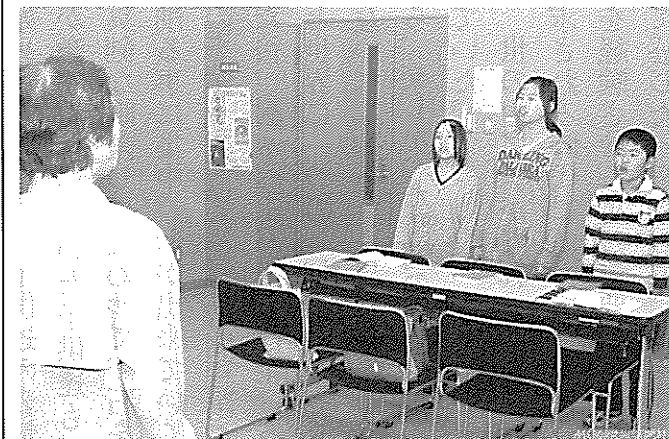
松尾はつきりクラブ

詩吟を始めて

みませんか!!

代表 村松 淳子

声気、堂々、志たずぬべし、高低と毎週金曜日の午後六時から元気よくお腹から声を出す練習から始まります。詩を作った人の喜びや、悲しみ、感動した心を大きな声でうたい(吟じて)表現するのです。名詩に触れる事により、漢字を覚えたり人物や、歴史を知る事も出来ます。年間行事として松尾の大会や、飯伊の大会、県大会と行事が有りますが、無理のない程度に参加するようにしています。小中学生頃の方が、のみ込みが早くて上達が目にみえる程です。又、大きな声を出すことにより、人前で話す自信が生まれ、物事に積極的に取り組む気持ちが生れます。又、多くの人との出会いや、詩の心の勉強も出来ます。是非みなさんのご参加をお待ちしています。



お知らせ

今後の育成会事業

(行事部)

二月 松尾地区文化祭

(子供ふれあい広場)

・おもしろ科学教室

(教養部)

あいさつ標語募集

あいさつ標語の看板移動

松ぼっくり池の管理

(広報部)

育成会便りの発行

二十四号発行

松尾育成会便り

平成22年度 第23号 松尾青少年健全育成会 広報部

水中生物と触れ合う子供たち

松尾の川の水中生物をつかまよう

清水 太田 真太郎

六月十二日、初夏の日射しの中『松尾の川の水中生物をつかまよう』が開催され、八十名の子どもたちが参加しました。始めに、北城先生から松尾にはどのような水中生物がいるのかイラストを見ながら名前や生態について詳しく教えていただきました。その後、中溝川に移動し水中生物を捕まえました。子どもたちは、元気いっぱい生き生きとした表情で楽しそうに網やザルを使って、ドジョウ、カニ、ヤゴ、魚などたくさんさんの生物を捕まえました。



生物と触れ合いながら川で遊んだ体験は、子どもたちにとって貴重な思い出になりました。

楽しかったよ! 水中生物をつかまえて

松尾の川の水中生物

清水 太田 幸穂

私は、松尾の川の水中生物をつかまえる行事に参加しました。私は、虫が苦手なのでドキドキしていました。川に着くと、一番最初に着いていた男の子たちは、先に川の中に入って夢中で生物を取っていました。私も、取る場所を決めました。私のおそろおそろ川の中に入ってみると、川の草がいつぱい.....

三年 福沢りょうや

六月十二日に水中生物をつかまように行きました。ぼくは中溝川でドジョウが一匹とヤゴが二匹、おたまじゃくしが十匹、ヨシノボリが一匹、サワガニが一匹とれました。さいしょはおたまじゃくしばかり八匹ぐらいとれました。中溝川へ行く前に北条先生からコモチカワツボについて、コモチカワツボ



い足にはり付いてふしぎな感じがしました。あみを使って、生物を取ってみました。あみの中には、小さい貝ややごがいました。初めてやごを持ってみたら、やわらかかったです。松尾の川にはいろいろな生物がいることが分かりました。.....

はホテルのエサになるんだけど、それをホテルが食べると光がよわまって、めすがおすをよわなくなり、ホテルがへってしまふというお話を聞きました。そして、支所へ帰ってからコモチカワツボをけんびきょうで見ました。お茶をもらって帰りました。楽しかったです。

な風の吹く気持ちの良い日になりました。役員の方を中心となり、何日も前から準備をしました。子供



納涼祭

支部長 豊隅 園子

く応援や歓声が聞こえ、いつの間にか全員がその魅力の虜になっていました。最後に、「道具は大切に使いましょう。」と、楽しむ為の基本的なルールも教えていただき、終了となりました。

七月三十一日(土)に、常盤台納涼祭が行われました。昨年はあいにくの雨でしたが、今年

二年 松のぶひでき

今日、ぼくは、中みぞ川へ行き、おにやんまときんやんまのやごをつかまえました。あと、糸とんぼのやごを二ひきつかまえました。カニは一ひき、ドジョウを三ひきつかまえました。たのしかったのでまた行きたいです。

中みぞ川へ行った

二年 木下 ゆうと

ぼくは、中みぞ川にさかなをとりに行きました。ぼくは、まづさいしょにどじょうをとりました。それからつづいてまた二ひきとれました。そのあとにかにを二ひきとりました。そのあと、どじょうが三ひきとれました。たのしかったです。

二年 いはら ぬい

まつぼつくりの人と松おの人と中みぞ川に行きました。わたしはとってもこわかったです。めずらしいどじょうもおりました。それをとったのは、はら田

りくとくんです。みんな「すごい」と言っていました。

松尾の子どもは松尾で育てるII

育成会会長 矢崎 晴美



お年寄りの皆さんのご指導の下「ニュースポーツを楽しもう」という会が開かれ、「囲碁ボール」を教えていただき、子どもたちと共に楽しむことが出来た。印象的だったのは保護者の皆さんと子どもたちが一つのチームを編成し、ボールの行き先に一喜一憂する姿。様々な姿でお互いを応援しあう姿。兄が弟にアドバイスする姿。大人と子どもという世代差



や異年齢の子どもたちがお互いに声援し合い、励まし合う姿に感動さえ覚えた。中でも、小さな子どもが、ゲームの進行と共にもめきめきと実力をつけていく姿。これこそ感動のものであった。その陰にはお友達への応援ばかりでなく、大人と接する中で応援に励んで自分も頑張ろう、大人に負けまいとする心意気などが感じられた。

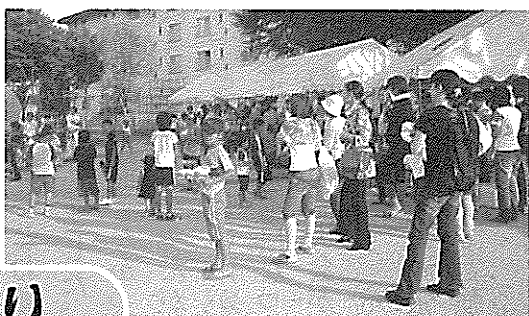
そのような姿を見ている内に、私は子どもたちが大いに楽しんでいるの当たり前にすることが出来た。まさに育成会が掲げる「松尾の

みんなで囲碁ボールを

八幡 熊谷 政子

「昔むかし、兵庫県は丹波の柏原という所に囲碁の大好きな殿様がおったそうなの。そんな昔話から始まったニュースポーツを楽しむ会は、七月十七日、高齢者双葉会の方の御協力により、下は小学一年生から上は年齢不詳の年配者、老若男女約三十名の参加によって行われました。その噂は本場で、回が増してルールやコツがわかるにはそう時間はいらず、どこからとも無

からお年寄りの方まで楽しめる企画と、沢山のおいしい食べ物を用意しました。子供達も大勢参加し、地域の人達と触れ合い楽しく過ごしました。



久井地区

親子ボーリング大会

支部長 村澤 賢生

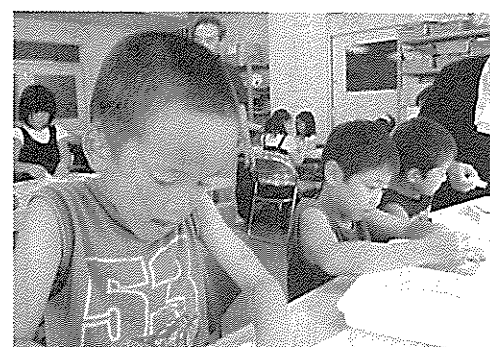
今年度は三名の一年生を迎え新しい久井児童会がスタートしました。四月二十九日に、新入生歓迎

地区だより

水城地区

式及び、親子ボーリング大会を行いました。緊張していた新入生も、来賓の方からのお祝いの話をしっかりと聞き、ハンカチ落としなどのゲームでは、上級生に溶け込む姿が見られました。例年の親子遠足から初めて試みた親子ボーリング大会でしたが、ボーリング初体験だった子供も、得意な子供も皆で楽しみ盛り上がったひと時でした。

支部長 下平 王利



去る八月七日に、夏休み子供



講座、「勾玉作り」を上郷考古博物館の御協力を得て開講した。子供三十人、大人十二人が参加し、古代の人の技に挑戦した。滑石という硬度一の石を削り始めるやいなや、子供達の表情が激変。騒いでいた子供達も、真剣な眼差しに変わって、石を削る事に集中。形が出来ていくのを楽しんでいた。一時間程削った後、耐水ペーパーで仕上げると世界に一つの「勾玉」が完成。互いに「勾玉」を見せ合いながら、楽しかった時間の余韻に浸っていた。世の中に物が溢れ、効率を追求される時代にあつて、物作りを経験させる事の重要性を改めて感じた一日でした。